

カトリック河原町教会だより

2016年7月

「いつくしみの特別聖年」 福知山教会への巡礼

6月11日土曜日に、「いつくしみの特別聖年行事」として、昨年5月に献堂された福知山教会の「いつくしみの扉」への巡礼バスツアーが行われました。参加者は約50名で、皆で「いつくしみの扉」をめぐり、一場神父と小立花神父の共同司式によるミサに与りました。

一場神父は「この一年は毎日が巡礼です。より恵みに満ちた年となるよう祈りましょう。そして、神からいただいた豊かな命を人々と分かち合いましょう。それが、御父がいつくしみ深いように、わたしたちもいつくしみ深くなるためにしなければならないことです」と話されました。

小立花神父の楽しいお話や信徒の方々の温かいおもてなしを受けて、この巡礼は、皆にとって思い出深いものとなり、また「いつくしみの特別聖年」を心に刻む機会となったことでしょう。
(編集委員)



一場神父と小立花神父によるミサ



聖堂にそろって集合写真

「分かち合い」(1)

河原町教会では今、様々な分かち合いが行われています。私たちが分かち合いをする時、そこに共同体があります。共同体がつくられていきます。

分かち合いというと、何かを語らなければならないと思われがちです。確かに、グループで聖書を読んで各メンバーが感じたこと、思ったことなどを語るということは、素晴らしいことです。しかし、分かち合いとは、ただ単に語るのではなく、語り合うことです。聴き合うこと、受け止め合うことです。分かち合いとは、聴く人が、受け止める人がいて成り立つのです。聴くことの方が大切であるとさえ言えます。特に、聖書の分かち合いの場合、聖書のみ言葉に耳を傾けること、み言葉を心に納めることからすべてが始まります。

さらに分かち合いは、聖書の分かち合いだけではなく、私たちは神からたくさんの恵み

洛東ブロック担当 一場 修 神父

を受けていますが、神からの恵みはすべて、分かち合うべきもので、分かち合うことで本当の意味で恵みとなっていくと言えます。例えば、私たちがミサでいただく聖体は、分かち合いそのものです。ミサの時、私たちは、共同体として、聖書のみ言葉に耳を傾け、一つのパンを分かち合います。ミサを、共同体全体で心をつなげてささげる時、最も尊い、最も素晴らしい分かち合いが実現していると言えます。

分かち合いには、苦しみや悲しみの分かち合いもあります。私たちは一人ひとり、様々な悩みや困難を抱えて教会に來ています。共同体は、そんな悩みや苦しみを分かち合

う場です。解決ができなくとも、答えが見つからなくとも、お互いに聴き合う、受け止め合う、祈り合う、共にキリストの十字架に結ばれる。ここにも、分かち合う共同体が生きています。

(8月号につづく)

福知山教会ステンドグラス「5つのパンと魚」



洛東ブロック桃山教会創立50周年 おめでとうございます

洛東ブロック4小教区のひとつである桃山教会は、メリノール宣教会(当時担当:ロバート・J・ヒューズ神父)の尽力によって創設され、その後1966年6月に京都教区の小教区となりました。

ちょうど「いつくしみの特別聖年」にあたる今年、創立50周年を迎えて、6月19日(日)10時半から、記念ミサが大塚司教、キム神父の共同司式で行われました。6月の小雨の中、多くの信徒が集いました。

大塚司教は、桃山教会広報誌「みこころ」の中で、『イエスのみ心』の名をいただく桃山教会は、神のいつくしみと愛のシンボルであるイエスのみ心をたたえ、しるしとなる共同体です」と記しておられます。

また、司教はミサの中で、この主日の福音、「自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」に焦点を当て、「十字架」とは、利己心・エゴを捨てるための自分との戦いであり、それこそが人生の目的です、と語られました。そして、「わたしたちのすべてを担ってくださる主に従いたい者は、他の人々に決して無関心であってはならず、主の無償の愛を独り占めしないで分かち合うことが必要です。十字架を愛に変え、証しする共同体として歩んでいきましょう」と励まされました。

ミサ後は、「世界につながる教会」を共通テーマに、グループに分かれて、分かち合いの時をもちました。

(編集委員)



聖堂のイエスのみ心像



庭のマリア像

「主日の福音を読む集い」開始のお知らせ

この集いは、1グループ5名ほどで一緒にその日の福音を読み、みことばを深めてミサに与るための集いです。

～どなたでも気軽にご参加ください～

★日時：毎週日曜日 9:30～10:15

★場所：カトリック会館3階 301号室

集いの流れ

- ①「主の祈り」で開始
- ②この日の福音を読む(進行役から朗読を開始し、順に1人1文ずつ輪読する)
- ③1分程度の黙想をはさんで3回繰り返す(第一文の朗読開始者を変える)
- ④3分程度黙想した後、最も心に留まった箇所を、1人ずつ3回繰り返して朗読する
- ⑤3分程度黙想した後、なぜその文が心に留まったかを、順に一人ずつ自分の想いや経験に基づいて簡単にコメントする(ただ聞くこと。議論や質問はしない。進行役は、一人が長時間話さないように気を配る)
- ⑥時間があれば10分程度分かち合いを行う
- ⑦「アヴェマリアの祈り」で終了



集いのモットー

短い時間で・敷居を低く・ルールは簡単に・参加者は平等に・身構えしないで参加を！

土曜学校レポート ～福知山への遠足～

5月21日(土)の土曜学校遠足は、福知山教会と福知山城へ出かけました。晴天に恵まれ、真夏のような太陽がふりそそぐこの日、小学生13名・中学生1名・大人13名の計27名で、京都駅からJR特急で福知山へと向かいました。

福知山教会では、小立花神父が出迎えてくださり、「いつくしみの扉」をくぐって聖堂に入りました。昨年献堂されたばかりの美しい聖堂で小立花神父のお話を聞き、「マリアさまのこころ」「マリアさまのお話」を歌い、神父様の先唱で心を合わせて祈りました。

そして、福知山教会信者の方の、手作りクッキーをお土産にいただいて、次は福知山城へと向かいました。お城の庭でお弁当を食べ、遊んだあとは、お城の中に入り、兜をかぶって写真を撮ったり、展示を見たり、天守閣の最上階から福知山の美しい町並みを眺めたりして楽しいひとときを過ごしました。

「いつくしみの特別聖年」にふさわしい巡礼の遠足となり、楽しい一日を与えられた恵みに感謝します。(教育部)



聖堂で小立花神父のお話を聞く

「いつくしみの扉」をくぐって



福知山城の見学

兜をかぶり武者気分



河原町教会6月評議会議事録要約

2016年6月5日(日)

司祭団の報告=6月は済州・京都教区交流月間で6月24日、ヤン神父・キム神父が来日され、30日まで滞在の予定。河原町教会全体で歓迎したい。

各部会報告=**(1)典礼部**=①5/15の南部地区合同堅信式:大塚司教と司祭6名の共同司式。侍者9名、教会聖歌隊が奉仕②5/22に一場神父司式で親子2名の洗礼式が行われた。**(2)財務部**=教会維持費未納・滞納者への対策を進める。**(3)教育部**=**①土曜学校**:①合同堅信式の受堅者は中学生5名②夏の錬成会準備を開始(洛東ブロック3教会に案内状を発送した)**②中高生会**:6/26済州教区司祭との交流を兼ねてコーヒーショップを開催予定(収益は熊本地震復興支援)**③エリの集い**:6/4総会を開催**④信徒養成**:①「主日の福音を読む集い」を7月から開催予定②待降節黙想会を11/26に予定(指導:中川博道神父)**⑤洛東ブロック合同教育部会**:5/8に合同教育部会を開催。次回合同部会は7/10の予定**⑥キリシタン研究会**:5/22例会を開催。『証灯』を配布した。**⑦ザビエル訪れ会**:6/5例会開催。次回例会7/3予定**(4)施設管理部**=①聖堂椅子の左右の入れ替え作業を実施した。②植木の剪定を依頼予定**(5)広報部**=ウェブサイトの更なる内容改善を予定。重要な変更については評議会での承認を得る。

その他報告=**ぶどうの会報告**:ぶどうの会手作り品ミニバザーを7/10(日)10:30ミサ後に開催予定②6月例会は休会

行事予定=4ページ行事予定欄に記載

協議事項=**(1)「いつくしみの特別聖年」行事関連**:①福知山教会巡礼予定(6/11)②「いつくしみの特別聖年」教皇大勅書の読書会を開催中③教育部主催「主日の福音を読む集い」を7月から開催予定で広報等を準備中**(2)平和旬間行事関連**:8/7(日)10:30ミサ後に「朗読劇」と司祭の解説を企画**(3)洛東ブロック会議関連**:次回会議で行事・活動報告を予定。各小教区からブロック全体へ活動をつなげていきたい。**(4)2017年新聖堂建立50周年記念行事関連**:メインテーマと「スローガン」を検討する。

その他=①敬老懇親会でペルー民族音楽演奏鑑賞を検討中。子どもたち手作りクッキーを贈る。②待降節黙想会の確認11/26(土)/指導:中川博道神父③聖堂後ろの配布物用机と祭壇侍者用椅子の新調を計画④当教会への巡礼者の受け入れ態勢を整備する。

[門の聖句]

わたしのくびきを受け入れ

わたしに学びなさい (マタイ 11・29)

◇ 2016年7月・8月の行事予定 ◇
(8月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜日	行 事 予 定
7	3	日	キム神父(ペトロ)霊名のお祝い 10:30ミサ 評議会7月例会 10:30 ミサ後
	10	日	ぶどうの会ミニバザー 10:30ミサ後
	23	土	洛東ブロック会議(於:河原町教会) 14:00
	31	日	評議会8月例会 10:30 ミサ後 教会美化デー
8	5	金	～7(日) 教区中学生広島平和巡礼
	6	土	主の変容 日本カトリック平和旬間(15日まで)
	7	日	平和旬間行事
	8	月	～10(水) 土曜学校錬成会
	15	月	聖母被昇天
	27	土	教会学校研修会 10:00
	28	日	田中司教(ライムンド)霊名のお祝い 10:30ミサ

ユスト高山右近の列福式決定

教皇庁国務省は、ユスト高山右近殉教者の列福式を、2017年2月7日(火)正午から大阪市で執り行うと発表しました。右近は、本年1月21日に教皇フランシスコが、殉教者として列福を承認しています。

教皇フランシスコは、列福式の司式者として教皇庁列聖省長官アンジェロ・アマート枢機卿(イタリア出身)を教皇代理として日本に派遣します。列福式の主催は教皇庁国務省ですが、実際の開催準備は、日本カトリック司教協議会と、カトリック大阪大司教区が組織する列福式実行委員会が行います。



マニラに向かう高山右近
(大阪・聖マリア大聖堂の絵画)

常に上をめざす戦国武将の権力闘争の時代を生きた右近ですが、人間を真に幸福にする信仰の道を選び取り、常に神に愛される幸せだけを求めて生き抜きました。そんな右近の生涯は、現代を生きるわたしたちにとって、福音の生きたあかしと言えるのではないのでしょうか。(参考:カトリック中央協議会HP)

【ユスト高山右近列福式】

日時 2017年2月7日(火) 正午から

場所 大阪城ホール (大阪府中央区大阪城)

「ぶどうの会手作り品ミニバザー」開催のお知らせ

日時 2016年7月10日(日) 10:30ミサ後

場所 聖堂前庭

◆バザーの収益金は熊本地震復興支援金として送らせていただきます。ご協力をよろしくお願いします。



河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

*英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F集会室 / 3F応接室)

火曜日 10:00(第4・5・祝休) モンロイ神父(1F)

水曜日 10:00 一場 修 神父(1F)

19:00(第1・祝休) 一場 修 神父(1F)

木曜日 15:00(祝休) 一場 修 神父(1F・3F)

金曜日 15:00 シスター 庄子(3F)

19:15 村上 透磨 神父(1F)

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】第1水曜日 19:00～20:00 一場 神父

【山科教会】毎金曜日 9:30ミサ後 モンロイ神父

【伏見教会】毎火曜日 10:00ミサ後～11:30

一場 神父

【桃山教会】第1・2木曜日 19:30～20:30

一場 神父

◇南部地区信徒養成講座◇

(1F集会室)

北村 善朗 神父「祈りを学ぶ」

7月14日(木) 14:00

9月 8日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

毎月・第3火曜日 10:30

※8月はお休みです。

カトリック河原町教会だより 2016.7

編集:カトリック河原町教会 広報部

担当司祭:一場 修

住所:〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423

電話:075-231-4785 ファックス:075-211-8021

URL: <http://CatholicKawaramachi.Kyoto>



教会公式ウェブサイト



教会公式フェイスブック